

新城市議会傍聴記

(下)

地方政治
クリエイト

伊藤 秀昭

◎反省点

浅尾洋平氏はこれまでの新庁舎建設計画の進め方について、「旧来の発想にとらわれ、民意をくみ取れなかつたのでない」と聞いた。

市長は「10年度からステップを踏み、議決を経て基本設計まで進めてきた。市長選を経てさらに進めてきたが、13年に出した概算の見直しも含めて情勢変化の中で民意を確認するための住民投票でもあつた」とした。

浅尾氏は新城バイパスでの庁舎、限定分散型庁舎までも持ち出して「ゼロ」から積み上げるべきだ

と主張したが、現在地にどのような庁舎をつくるのかが見直しが大前提でないのか。

◎見直し方針

丸山隆弘氏は住民投票結果を受けて見

丸山氏はミニ集会を通じて寄せられた多様な市民の声や投票に行かなかった市民の手紙を紹介したが、総務部長は「ボ

ラスステップを踏み、議決を経て基本設計まで進めてきた。市長選を経てさらに進めてきたが、13年に出した概算の見直しも含めて情勢変化の中で民意を確認するための住民投票でもあつた」とした。

丸山氏は市と議会に投げかけられている。議会に見直し案を示し、しっかりと議論したい」とした。

◎財政理解 下江洋行氏は今回の住民投票から学ぶべき教訓について自らの反省を含め、しつかりと、財源計画を示し、市民に理解

があるとなっているが、その60%の24億円は交付税処置されている事は、市民理解を深め、いかにして合意形成を図つていくかが、行政としての大きな責務である」とした。

総務部長は「様々課題に取り組み、消費税率増税前の猶予期間である16年9月に関わってもうういた。

そのために鈴木氏

は新庁舎の財源説明資料の作成に市民代

員の現場で培われた経験と知恵によってデータの意味を深く理解できる人がいるれば効果的なデータの分析や利用はできます。

月末までの契約をめざし、また地方創生に総力を挙げるべく、庁舎問題の早期決着を図る」と答えた。

なポイントが浸透していくなかつたのでないが、また、市の財政資料は全戸配布されていて、市には398億円の借り入れ

が、その60%の24億円は交付税処置されている事は、市民には分からぬで、借金が多いといふ印象だけを残している。丁寧に説明することが大事だ」と話した。

議論の中で滝川氏は「国の大統領は「私は報告を聞くだけですが、産業の面に答えた企画部長は「私は報告を聞くだけですが、産業の面からも有益です」と、他人事のようなやりとりがあつたが、職

施設の整備が進み、刻一刻と時間が経過する中で、産廃処理施設の地元議員でもある中西氏の苦悩という立ちが伝わってくる質問だった。

ことや、「公共施設白書」も市民参加で作つたらどうかと提案し、今回の住民投票を明日の新城のため

に生かすべきだと主張した。

この大変な経緯を踏まえ、「新庁舎の見直しに12点にわたつて質問したのは鈴木達雄氏。その中で「新庁舎の見直しが今後の公共施設のあり方に示唆するものは何か」について、総務部長は「今回の経緯を踏まえ、今後、大型公共施設を整備していくためには、市民理解を深め、いかにして合意形成を図つていくかが、行政としての大きな責務である」とした。

△

◎合意形成 中西宏彰氏は、昨年4月施行の「産廃条例」適用第1号の「環境保全協定書」で

まえ、今後、大型公共施設を整備していくためには、市民理解を深め、いかにして合意形成を図つていくかが、行政としての大きな責務である」とした。

議論の中で滝川氏は「国の大統領は「私は報告を聞くだけですが、産業の面に答えた企画部長は「私は報告を聞くだけですが、産業の面からも有益です」と、他人事のようなやりとりがあつたが、職

員の現場で培われた経験と知恵によって

データの意味を深く

理解できる人がいる

れば効果的なデータの分析や利用はできます。

△

◎産廃条例 中西宏彰氏は、昨年4月施行の「産廃条例」適用第1号の「環境保全協定書」で

議論の中で滝川氏は「国の大統領は「私は報告を聞くだけですが、産業の面に答えた企画部長は「私は報告を聞くだけですが、産業の面からも有益です」と、他人事のようなやりとりがあつたが、職

員の現場で培われた経験と知恵によって

データの意味を深く

理解できる人がいる

れば効果的なデータの分析や利用はできます。

△

◎ビッグデータ 地域創生競争が始まっている。新城市は住民投票の後遺症で、のんびりして大丈夫ですか!二日間の新城市議会を傍聴していて

民意とは何か、間接

に質問したのは滝川健司氏。

議論の中で滝川氏は「国の大統領は「私は報告を聞くだけですが、産業の面に答えた企画部長は「私は報告を聞くだけですが、産業の面からも有益です」と、他人事のようなやりとりがあつたが、職

員の現場で培われた経験と知恵によって

データの意味を深く

理解できる人がいる

れば効果的なデータの分析や利用はできます。

△

◎地域創生競争策定事業について目指すべき方向性など

議論の中で滝川氏は「国の大統領は「私は報告を聞くだけですが、産業の面に答えた企画部長は「私は報告を聞くだけですが、産業の面からも有益です」と、他人事のようなやりとりがあつたが、職

員の現場で培われた経験と知恵によって

データの意味を深く

理解できる人がいる

れば効果的なデータの分析や利用はできます。

△

◎ビッグデータ 地域創生競争が始まっている。新城市は住民投票の後遺症で、のんびりして大丈夫ですか!二日間の新城市議会を傍聴していて

民意とは何か、間接

に質問したのは滝川健司氏。

議論の中で滝川氏は「国の大統領は「私は報告を聞くだけですが、産業の面に答えた企画部長は「私は報告を聞くだけですが、産業の面からも有益です」と、他人事のようなやりとりがあつたが、職

員の現場で培われた経験と知恵によって

データの意味を深く

理解できる人がいる

れば効果的なデータの分析や利用はできます。

△

◎地域創生競争策定事業について目指すべき方向性など

議論の中で滝川氏は「国の大統領は「私は報告を聞くだけですが、産業の面に答えた企画部長は「私は報告を聞くだけですが、産業の面からも有益です」と、他人事のようなやりとりがあつたが、職

員の現場で培われた経験と知恵によって

データの意味を深く

理解できる人がいる

れば効果的なデータの分析や利用はできます。

△

◎地域創生競争策定事業について目指すべき方向性など